

お客様プロフィール

タック株式会社様

◎印刷を核に情報技術をベースにした印刷物の制作
・印刷、DMデータ管理から発行代行などの関連サービス、ホームページ・イベントの企画・制作・設営・管理など幅広く広告の企画から印刷までをトータルにご提案されています。

◎納入年月：2019年5月

自動給紙装置「FF-14」導入の経緯

今回は、名古屋市のタック株式会社様を訪問し、**自動給紙装置「FF-14」**を操作している様子取材させて頂きました。

タック株式会社様では、以前から両面粘着テープ貼付機「1000N2」をご使用されておりましたが、手差し作業であったという事で、株式会社タイガ様の新春機材展にて弊社営業担当者がご提案し、ご導入いただきました。



～柚課長、遠山様 インタビュー～

Q.導入する際の決め手を教えてください。

従来は、手差しで一枚一枚、テープ貼付機「1000N2」に封筒を送り、テープ貼付け後の検品まで行っていました。

手作業という事もあり、時間もかかっていましたが、こちらの「FF-14」の上に必要数の封筒をまとめてセットするだけで、検品しながらテープ貼りができるという説明を受け、作業の効率化（時間短縮）に繋がると思い、導入する事に決めました。

●タック株式会社 業務課 遠山様

～ 柚課長、遠山様 インタビュー～

Q.主にどのようなお仕事に「FF-14」をご使用されていますか？

封筒（サイズは7割が長3、他は角2、長4、洋長3等）のテープ貼りの際に使用しております。



<納入機器>

自動給紙装置 Friction Feeder「FF-14」

- ・給紙の際には、一枚のみ給紙の「SINGLE」ボタンと、連続給紙の「CONTINUOUS」ボタンで給紙方法が選択可能。
- ・メディアは、厚さ9mmまで対応可能。
- ・下から給紙の為、上積み可能。



両面粘着テープ貼付機「1000N2」(右)とのセットで、テープ自動貼付システムが可能となります。

導入効果

長3封筒1,000枚に対し、手差しでは検品含め30分かかっていましたが、機械導入後は約半分の15分で済み、効率化が図れました。最初に、封筒を揃えてセットという作業が必要となりますが、後は連続での給紙、それも安定して流れるため、検品しながら作業ができ、とても扱いやすいです。

因みに、封筒にもよりますが、給紙ミスはほとんどなく、給紙音は静かです。

弊社に対するご意見ご要望

100枚ずつで一時止まるプリセットカウンター（間欠カウンター）があれば、なお良いですね。

創造と豊かな対話のために

IWATSU 岩崎通信機株式会社

本社 〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41

URL : <http://www.iwatsu.co.jp/>